

認知症

認知症を学び
地域で支えよう

サポーター養成講座

「認知症」の人を理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でできることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。

「認知症」を理解し、応援する「認知症サポーター」になってください。

認知症サポーターとは

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「応援者」として、自分のできる範囲で活動します。

認知症サポーター養成講座を開くには

講座の開催を希望する場合は、申込書に記入し、松江市介護保険課まで提出をしてください。

「認知症サポーター養成講座」の講師（キャラバン・メイト）を派遣します。

講座は、基本的に無料で実施ができ、地域の公民館や企業、学校等で開催されています。

認知症サポーターになるには

「認知症サポーター養成講座」を受講した人が「認知症サポーター」となり、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印の「認知症サポーターカード」が渡されます。

「認知症」は誰でもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族、あるいは友人や知り合いが「認知症」になるか分かりません。「他人ごと」ではなく、「自分ごと」という認識を持つことが大切です。

松江市介護保険課 ☎55-5568

